



呉市安浦町
有限会社はなぞの野呂高原
代表取締役 今井 満さん（48歳）

外的要因の価格低下に備え

加入の決め手は、2018年の西日本豪雨と、新型コロナによる収入減少を経験したことです。バラの苗や切り花、ランをハウスで栽培し、収入保険には今年から加入しています。

豪雨災害では、土砂の流入や、停電により養液栽培装置や換気施設が稼働しないなどが重なり、花が十分に育たず、収入が大幅に減少しました。電気が止まると栽培に大きな影響が出ることを思い知らされました。

復旧作業が落ち着き、盛り返していこうと思っていた頃、新型コロナの影響で婚礼やイベントが延期や中止になり、価格が大幅に低下しました。ランは鉢植えで出荷していましたが、それでは採算が取れないので、包装費用や作業時間を抑えるため、約半分を切り花に転換しました。

花き類は、外的要因で価格が大きく左右されます。現在は、コロナ禍で需要が増えつつあるガーデニング用苗の育成に力を入れていますが、今後どんなことが起こるか分かりません。収入保険の掛金は少し負担になりますが、万が一の備えとして収入保険は必要だと思います。また、経営の実態に合わせて加入できるのもいいですね。

▷バラの苗・切り花、ラン計50万

（農業共済新聞 中国版 2021年10月3週号より）